

セゾンマルチシリーズ 据付説明書

FDRP 222LXB～1402LXB

PJR012D306

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。  
電気配線工事の方法は、別紙の電気配線工事の説明書をご覧ください。  
室外ユニットの据付方法は、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。  
リモコンは別売です。

| 適用機種 | マルチシリーズ | 小母形            | 中母形   | 大母形     |
|------|---------|----------------|-------|---------|
|      |         | 22,28,36,45,56 | 71・90 | 112・140 |

〈お願い事項〉

- 取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご指導ください。
- 長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご指導ください。  
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータ等に通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。
- 本機はダクト機です。直吹きでは使用しないでください。

お知らせ

本機と別売パネル(サイレントパネル又はキャンバスパネル)との組合せにより、4タイプの据付が可能です。

| 適用機種     | マルチ形    | 22～56       | 71, 90      | 112, 140    |
|----------|---------|-------------|-------------|-------------|
| サイレントパネル | フラット    | R-PNS-27WB  | R-PNS-37WB  | R-PNS-47WB  |
|          | 天井材嵌めこみ | R-PNBS-27WB | R-PNBS-37WB | R-PNBS-47WB |
| キャンバスパネル | フラット    | R-PNC-27WB  | R-PNC-37WB  | R-PNC-47WB  |
|          | 天井材嵌めこみ | R-PNBC-27WB | R-PNBC-37WB | R-PNBC-47WB |

① 据付のまえに

- 据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
- 工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様

確認してください




配管・配線・小物部品

付  
属  
品

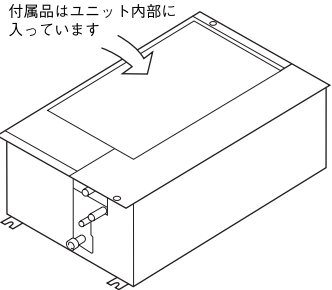
① ドレン配管用

|   |         |   |    |          |
|---|---------|---|----|----------|
| 1 | パイプカバー  |  | 2個 | ドレンソケット用 |
| 2 | ドレンホース  |  | 1個 |          |
| 3 | ホースクランプ |  | 1個 | ドレンホース用  |

② フレアナット部断熱用

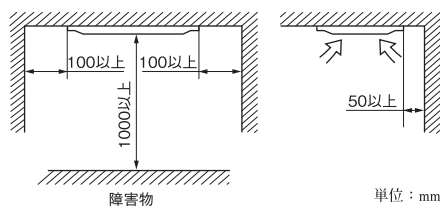
|   |        |   |    |      |
|---|--------|---|----|------|
| 1 | パイプカバー |  | 1個 | ガス側用 |
| 2 | パイプカバー |  | 1個 | 液側用  |
| 3 | バンド    |  | 4個 |      |

付属品収納場所（梱包時）



## ② 室内ユニットの据付場所の選定

### 室内ユニット据付スペース



単位：mm

### お願い

1. 据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

○冷風または温風が十分行きわたる所。

据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますのでサーキュレータの併設をご指導ください。

○室外への配管、配線のしやすい所。

○ドレン排水が完全にできる所。

○据付部の天井が強固である所。

○吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。

○周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。

2. 据付けようとする場所がユニットの重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら、板、桁等で補強して据付作業を行ってください。

3. 天井裏高さが下記の高さを有する所。

|               | 22～90 | 112・140 |
|---------------|-------|---------|
| サイレントパネルとの組合せ | 365mm | 416mm   |
| キャンパスパネルとの組合せ | 459mm | 510mm   |

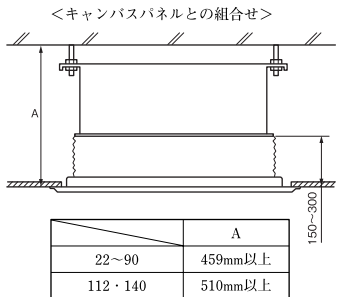
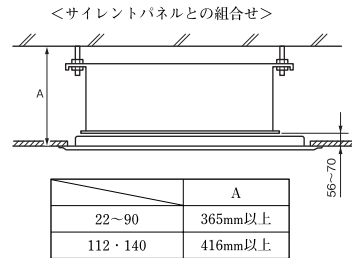
高湿度の所に据付ける場合は本体の断熱等、結露に対する配慮をしてください。

本ユニットはJIS露付条件にて試験を行ない、不具合のないことを確認されておりますが、ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態では運転すると水滴が落下するおそれがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合には、ユニット本体のすべての配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取り付けてください。

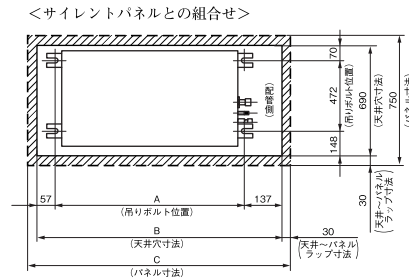
③ 天井裏への吊り込み準備 ★据え付け高さは床面より2.5m以上としてください。

吊り込みの 패턴の選定

据付場所の状態によりパターンを決定してください。

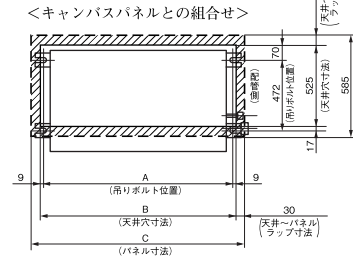


天井穴及び吊りボルト位置



【単位：mm】

| 機種      | 記号 | A    | B    | C    |
|---------|----|------|------|------|
| 22~56   |    | 786  | 980  | 1040 |
| 71・90   |    | 986  | 1180 | 1240 |
| 112・140 |    | 1406 | 1600 | 1660 |



【単位：mm】

| 機種      | 記号 | A    | B    | C    |
|---------|----|------|------|------|
| 22~56   |    | 786  | 804  | 864  |
| 71・90   |    | 986  | 1004 | 1064 |
| 112・140 |    | 1406 | 1424 | 1484 |

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。

○システム天井（グリッド天井、ライン天井）の場合

吊り長さ（吊りボルトの長さ）500mm以上又は天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。

○強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合

吊り長さ（吊りボルトの長さ）1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。

警告

●据え付けは重量に十分に耐える所に確実に行ってください。

●強度不足や取り付けが不完全な場合には、ユニットの落下によりケガの原因になります。

④ ユニットの搬入、据付

搬入



お願い

○搬入時はできるだけ据付場所の近くまで梱包のまま搬入してください。

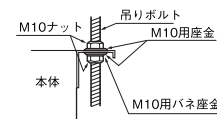
○やむをえず解梱して搬入する場合はナイロンスリングまたは、ユニットを傷つけないよう当て板をしてロープで吊り上げてください。

○解梱後ユニットを置く場合は必ずユニット床面側を上にして置いてください。

据付

＜吊り込み＞

○ユニットを吊り込んでください。



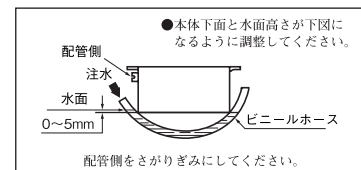
○本体を据え付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具が長穴になっていますので調整してください。



水平度の調整

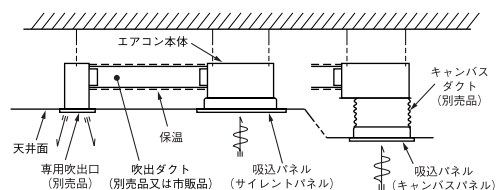
お願い

○水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。



○水平度がでないときとフロートスイッチの誤作動あるいは不動作の原因となります。

## ⑤ ダクト工事



### お願い

- 曲りは極力少なくしてください。  
(曲げRは極力大きくしてください。)



### お願い

- 風量、機外静圧の計算を実施しダクトの長さ、形状、吹出口を選定してください。算出方法は、技術資料を参考にしてください。

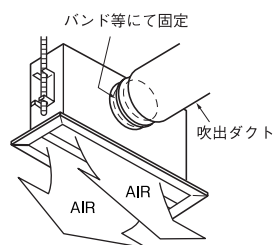
#### ①吹出ダクト

- φ200円形ダクトにより、下表に示すスポット数で使用してください。

|       | 22 | 28~56 | 71~90 | 112~140 |
|-------|----|-------|-------|---------|
| スポット数 | 1  | 2     | 3又は2  | 4又は3    |

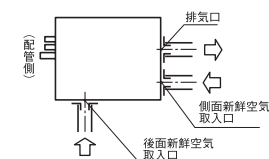
- 各スポット間のダクト長さの差は、2対1以内としてください。
- ダクトは、最短長さとなるよう施工してください。

#### ②専用吹出口



- 専用吹出口は、室内全般に空気が流れるような所に据付けてください。
- ダクト接続は、φ200円形ダクト専用です。
- 専用吹出口の取付及びダクトとの接続は天井貼付前に行ってください。
- ダクト固定バンド部を断熱し、結露防止を行ってください。

#### ③給・排気ダクトの接続



#### ④新鮮空気取入

- 後面又は、側面のどちらか工事の容易な方の取入口を使用してください。
- 同時給排気を行う場合は、後面新鮮空気取入口を使用してください。(側面は使用不可)
- 排気(必ず給気を併用してください。)
- 側面排気口を使用してください。

#### ⑤ダクト接続

- 別売品の給排気用ダクトフランジ(φ125丸形ダクト接続用)を利用し、φ125丸形ダクトを接続してください(バンド締め)。
- ダクトは結露防止のため、保温してください。

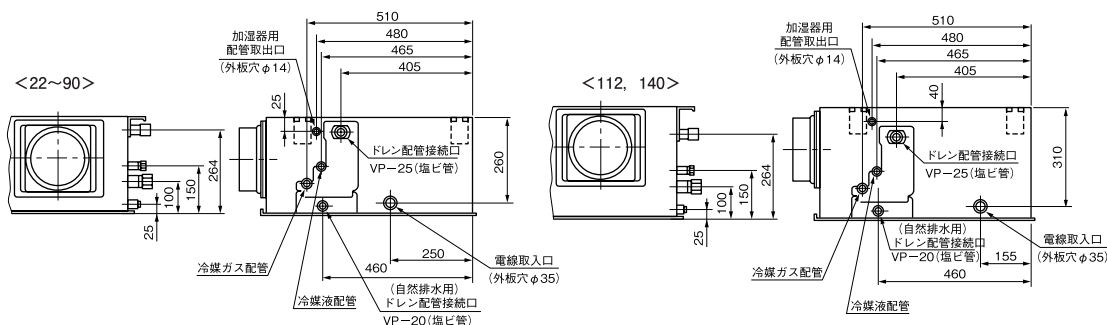
### ご案内

4スポットを3スポット、3スポットを2スポットに改修する場合は、専用塞ぎ板を別売品として用意しています。中央いづれかを塞いでください。

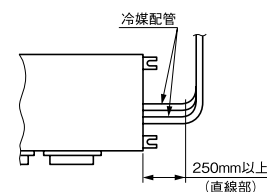
(注: 2スポットから1スポットへの改修は、行わないでください。)

## ⑥ 冷媒配管 は室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

### 配管位置



### 配管工事



### お願い

冷媒配管工事は、上図のように直線部を250mm以上とって行ってください。(ドレンポンプのサービスに必要です。)

冷媒配管時の注意事項

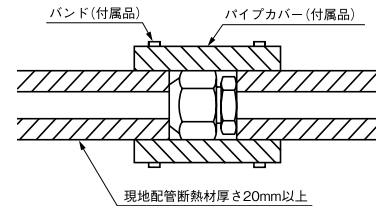
フレアナット締付トルク

|           |              |
|-----------|--------------|
| φ 6.35 :  | 14~ 18(N・m)  |
| φ 9.52 :  | 34~ 42(N・m)  |
| φ 12.7 :  | 49~ 61(N・m)  |
| φ 15.88 : | 68~ 82(N・m)  |
| φ 19.05 : | 100~120(N・m) |

ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

※液側配管は断熱しないと結露し、水漏れします。

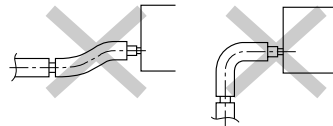
- ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスバナで2丁掛けて外してください。  
(このときガスが出ることがありますが、異常ではありません)
- フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、2丁スバナ掛けでしっかりと締め付けてください。
- 配管は下記材質のものをご使用ください。なお別売配管セットを使用されると便利です。  
(材質) リン脱酸銅継目無銅管 (C1220T、JIS H3300)
- 室内機のフレア接続部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締め付けてください。
- 配管は、ねじったり・つぶしたりしないでください。
- 配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないように施工してください。



⑦ ドレン配管

工所要領 (ツイン機、トリプル機の場合は全てのユニットに行ってください。)

- 付属のドレンホースとVP-25用継手の接着はユニット吊下げ前に実施してください。
- ドレンホースは、ユニットあるいは、ドレン配管の据付時の微少なずれを吸収するためのものです。故意に曲げて使用された場合、破損し、水漏れに至る場合があります。

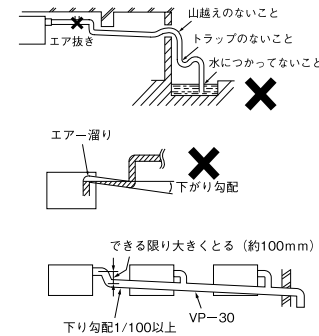
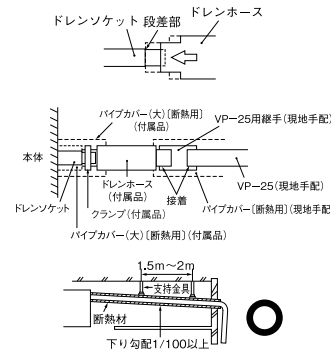


- ドレン管は市販の硬質塩ビパイプ一般VP-25を使用してください。
- 付属のドレンホース(軟質塩ビ端)をユニットのドレンソケットの段差部まで装着し、付属のクランプで確実に締めてください。

〈接着剤使用不可〉

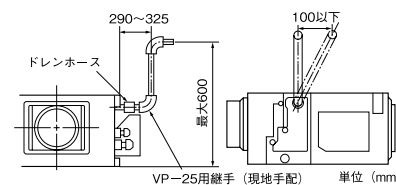
- ドレンホース(硬質塩ビ端)に、VP-25用継手(現地手配)を接着・接続し、この継手にVP-25(現地手配)を接着・接続してください。
- ドレン配管は下り勾配(1/50~1/100)とし途中山越えやトラップを作らないようにしてください。
- ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力を加えないように注意を行い、できる限りユニット近傍で配管を固定してください。
- エア抜きは絶対に設けないでください。
- ユニットから出たドレン配管を下がり勾配としないでください。エアが溜りユニット停止時の音の発生原因となります。
- 複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。また集合管はVP-30以上を使用してください。

- 結露が発生し、水漏れをおこす可能性がありますので、下記2ヶ所は確実に断熱してください。
- ▶ドレンソケット部  
排水テスト実施後、パイプカバー(小:付属品)をドレンソケット部に装着したあと、パイプカバー(大:付属品)にてパイプカバー(小)、クランプ及びドレンホースの一部を覆い、テープによりすきまのないように巻いてください。
- ▶室内にある硬質塩ビパイプ
- 室内にある硬質塩ビパイプは必ず保温してください。
- ドレン配管の出口は臭気の発生する恐れのない場所に施工してください。
- ドレン配管は、イオウ系有害ガス及び可燃性ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。室内に有害ガス及び可燃性ガスが侵入する恐れがあります。



★ドレンヘッドを高くしたい場合

- ドレン配管の出口高さは、天井より65cm、キャンパスバネルの場合はユニット下面より60cmまで高くすることができますので、天井内に障害物等がある場合にエルボ等を用いて施工してください。この場合、立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなりオーバーフローの恐れがありますので、下図の寸法内で処理願います。

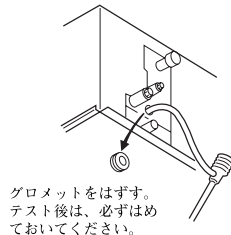


その他工所要領は通常のドレン配管工事と同一とします。

## 排水テスト

- ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていること、接続部およびユニットのドレンパン部からの水漏れのないことを確認してください。
- 暖房期の据え付けの際にも必ず実施してください。
- 新築の場合には天井を張る前に実施してください。

- 右図要領にて給水ポンプなどを使用し、本体ドレンパンの中へ約1000c.c.ほどの水を注入してください。  
注水ホースを20mm～30mm位差し込んで注水してください。  
(注水ホースは必ず下向きに差し込んでください。)
- ドレン排水しているか排水口部でご確認ください。  
※ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかテストしてください。
- 排水テスト後は、本体部まで配管の断熱をしてください。



クロメットをはずす。  
テスト後は、必ずはめておいてください。

## ドレンポンプ運転方法

### ●電気配線工事が完了している場合

ドレンポンプの運転がリモコン（ワイヤード）操作により可能です。  
運転操作方法は、付属の電気配線工事説明書の⑥ドレンポンプ運転操作をご覧ください。

### ●電気配線工事が完了していない場合

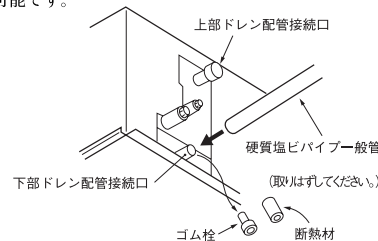
室内機基板上の設定を応急運転（SW9-3 ON）にし、かつ、基板上的コネクタCnBを抜いた後、電源ON（端子台①②へAC200V）15秒後にドレンポンプは連続運転します。

注意：送風機も同時に運転しますのでご注意ください。

排水テスト後は、必ず応急運転設定を元の状態（SW9-3 OFF）に戻し、かつ、基板上的コネクタCnBを差し込んでください。

## 下部ドレン配管工事要領（配管接続）

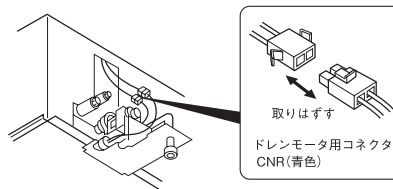
ドレン配管に下り勾配(1/50～1/100)が可能な場合下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。



## ＜ドレンモータ用のコネクタの取り外し＞

下図に示すようにドレンモータ用コネクタCNRを取り外してください。

（注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。）



## ⑧ パネル取付

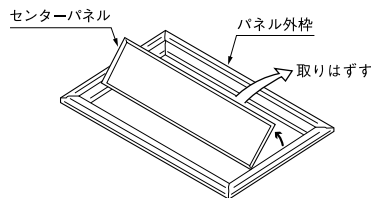
パネルに付属されているフィルタをユニットに取付けてください。  
取付け要領は下記のフィルター取付け方法により取付けてください。

### サイレントパネルの場合

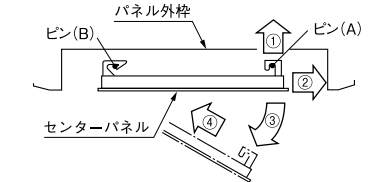
#### ＜付属品＞

|                 |    |        |
|-----------------|----|--------|
| 丸小ねじ<br>(M5×35) | 4個 | パネル取付用 |
|-----------------|----|--------|

- ①パネル内枠を外してください。

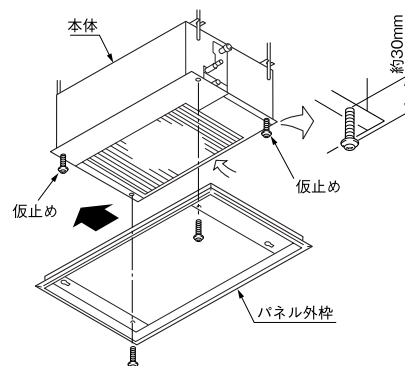


#### ＜センターパネルの外し方＞



- ④矢印①→②順でピン(A)より外してください。
- ⑤矢印③のようにすこし開き矢印④の方向へ移動させてピン(B)より外してください。

- ②パネル外枠を本体に取付けてください。



- ③パネル取付ねじ（パネル付属品）4本のうち2本を図のように仮止めしてください。
- ④パネル外枠を仮止めたねじに引っ掛け、図の矢印の方向へスライドさせ仮止めしてください。  
(注) パネル外枠の装着には方向性があります。
- ⑤仮止めたねじ及び残りのねじ(2本)を締付けてください。
- ⑥センターパネルを①項で外す逆の要領で取付けてください。

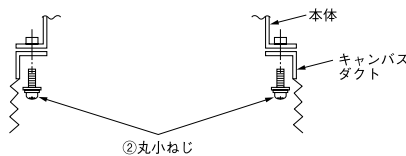
## キャンバスパネルの場合

注) キャンバスパネルの取付には  
キャンバスダクト(別売品)が必要です。

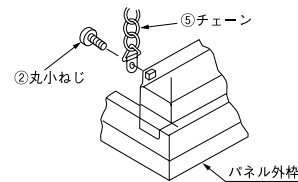
### ＜付属品＞

|   |                 |  |    |                      |
|---|-----------------|--|----|----------------------|
| ① | 丸小ねじ<br>(M4×16) |  | 4個 | パネル固定                |
| ② | 丸小ねじ<br>(M5×16) |  | 8個 | キャンバスダクト固定<br>チェーン固定 |
| ③ | 丸小ねじ<br>(M5×25) |  | 4個 | チェーン固定               |
| ④ | ホルダー            |  | 4個 |                      |
| ⑤ | チェーン            |  | 4個 |                      |

①キャンバスダクト(別売品)を本体に取付けてください。  
(4ヶ所)

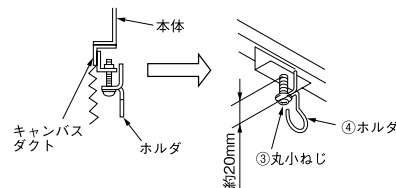


②センターパネルを上項に示す、サイレントパネルの場合と  
同じ要領で取外してください。  
③パネル外枠にチェーンを取付けてください。(4ヶ所)

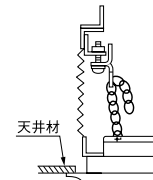


④パネル外枠を取付けてください。

④ホルダーを下图に示すように仮止めしてください。



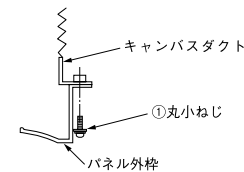
⑤パネル外枠のチェーンをホルダーに引っかけてください。



注) チェーンを引っかける  
際は、パネル外枠を天  
井材にできるだけ密着  
させた状態でチェーン  
にたるみのないように  
行ってください。

⑥パネル外枠を天井材と密着するまで④項の③丸小ねじに  
より吊り上げてください。

④キャンバスダクトとパネル外枠をねじ止めしてください。

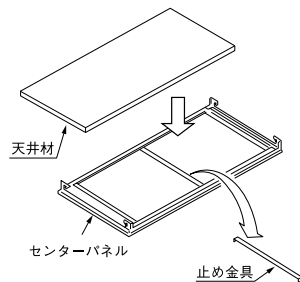


⑤センターパネルを上項に示すサイレントパネルの場合と  
同じ要領で取付けてください。

## 天井材の取付け (天井材嵌めこみパネルの場合のみ)

天井材嵌めこみパネルの場合は、センターパネルに天井材を取付けてください。

- ①止め金具を外してください。
- ②天井材を取付けてください。
- ③はじめに外した止め金具を天井材を  
押さえ込んで取付けてください。



### 天井材サイズ

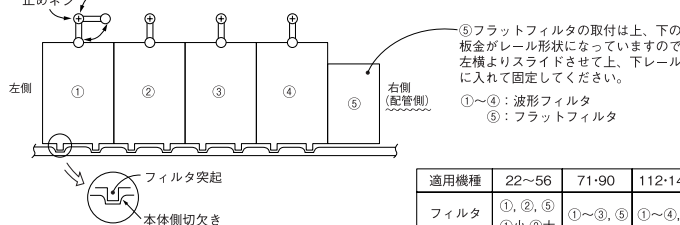
(板厚: 最大15mm)

|              | パネル形式       | 天井材      |
|--------------|-------------|----------|
| キャンバス<br>パネル | R-PNBC-27WB | 756×330  |
|              | R-PNBC-37WB | 956×330  |
|              | R-PNBC-47WB | 1376×330 |
| サイレント<br>パネル | R-PNBS-27WB | 932×495  |
|              | R-PNBS-37WB | 1132×495 |
|              | R-PNBS-47WB | 1552×495 |

## フィルタの取付け方法

- パネルに付属のフィルタを以下の手順でユニットに取付けてください。
- 取付は平フィルタから行ってください。一番右側(配管側)に取付けてください。  
波形フィルタを順次取付けてください。④→③→②→①  
波形フィルタについてはフィルタ枠についている突起を本体側の切欠きに合わせて取付けてください。上部は止め具で固定してください。(下图参照ください。)
- 波形フィルタ同士は隙間をふさぐように互いに重なり合うようになっています。取付時は連結するように取付けてください。

止めネジ 止め具でフィルタを固定 止めネジを起点として止め具は回転します



⑤フラットフィルタの取付は上、下の  
板金がレール形状になっていますので  
左横よりスライドさせて上、下レール  
に入れて固定してください。  
①～④: 波形フィルタ  
⑤: フラットフィルタ

| 適用機種 | 22~56             | 71~90  | 112~140 |
|------|-------------------|--------|---------|
| フィルタ | ①, ②, ⑤<br>①小, ②大 | ①~③, ⑤ | ①~④, ⑤  |

## ⑨ 電気工事及び試運転

電気工事及び試運転は別紙の電気配線工事説明書をご覧ください。



FDRP 222LXB～1402LXB

PSB012D810D 

# 電気配線工事説明書

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

## ① 電気配線取り出し穴位置および電気配線接続

### 電源配線

#### ⚠ 警 告

- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災の恐れがあります。
- 電源配線の仕様・サイズの選定は、「電気設備に関する技術基準を定める通商産業省令」、「内線規程」に従ってください。また、接続部の緩みがないようにしてください。
- 機器毎に設定された過電流及び漏電遮断器（感度電流30mA）を設置すること。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないこと。併用した場合、ブレーカー落ちによる2次災害が生じる恐れがあります。

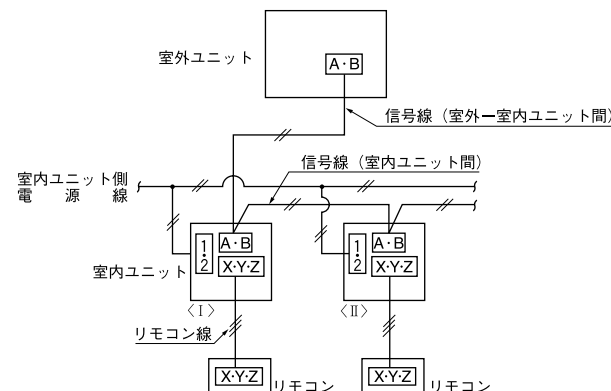
#### ⚠ 注 意

- 8mm<sup>2</sup>を超える太さの配線は接続不可能です。8mm<sup>2</sup>以上をご使用の場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ分岐するようにしてください。
- 信号線用端子台に200Vを接続しないでください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。

○電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。

- 1) 電線は銅線以外のものを使用しないでください。
- 2) 電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源。
- 3) 電気ヒータ（別売品）は含んでおりません。  
注）電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
- 4) 同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON、同時OFFになる様にしてください。
- 5) 信号線と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損してしまいますので、ご注意ください。

### 配線系統図（室外・室内ユニット接続要領）



### 電源仕様

(50/60Hz)

| 室内ユニット<br>合計電流<br>(A) | 配線用遮断器<br>定格電流<br>(A) | 漏電遮断器       |              |               |
|-----------------------|-----------------------|-------------|--------------|---------------|
|                       |                       | 定格電流<br>(A) | 感度電流<br>(mA) | 動作時間<br>(sec) |
| 7以下                   | 20                    | 20          | 30           | 0.1以下         |
| 11以下                  |                       | 20          |              |               |
| 12以下                  | 30                    | 30          |              |               |
| 16以下                  |                       | 30          |              |               |
| 19以下                  | 40                    | 40          |              |               |
| 22以下                  |                       | 40          |              |               |
| 28以下                  | 50                    | 50          | 100          |               |



## 配線仕様

| 室内ユニット<br>合計電流<br>(A) | 電源用<br>配線太さ<br>(mm <sup>2</sup> ) | 配<br>こ<br>う<br>長<br>(m) | 信号線太さ                       |                             |
|-----------------------|-----------------------------------|-------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                       |                                   |                         | 室外-室内<br>(mm <sup>2</sup> ) | 室内-室内<br>(mm <sup>2</sup> ) |
| 7以下                   | 2                                 | 21                      | 0.75~2.0<br>× 2 本           | 0.75~2.0<br>× 2 本           |
| 11以下                  | 3.5                               |                         |                             |                             |
| 12以下                  | 5.5                               | 33                      |                             |                             |
| 16以下                  |                                   | 24                      |                             |                             |
| 19以下                  |                                   | 20                      |                             |                             |
| 22以下                  | 8                                 | 27                      |                             |                             |
| 28以下                  |                                   | 21                      |                             |                             |

注(1) 配線こう長は、合計電流値の最大値で記載してあります。

(2) 室内ユニット接続線は5.5mm<sup>2</sup>まで使用可能です。8.0mm<sup>2</sup>以上の配線をご使用なされる場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ分岐してください。

(3) 配線こう長は、電圧降下を2%とした場合を示します。上表の配線こう長を超える場合は、内線規程に従い、配線太さを見直してください。

## 冷暖フリーマルチの場合

分流コントローラの配線

- 本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ(別売品)の据付説明書をご覧ください。

## ② アドレス設定

(1) 自動アドレス設定 (2) 手動アドレス設定 (3) リモコンアドレス設定

上記3項目については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

なお、(3) リモコンアドレス設定については、設定可能な機種と不可能な機種がありますので、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

## ③ リモコン取付と配線及び機能

### リモコン リモコンは別売です。

リモコンの据付 お願い 次の位置は避けてください。

- 1) 直射日光の当たる場所
- 2) 発熱器具の近く
- 3) 湿気の多い所・水の掛る所
- 4) 取付面に凸凹がある所

### 取付要領

#### 露出取付

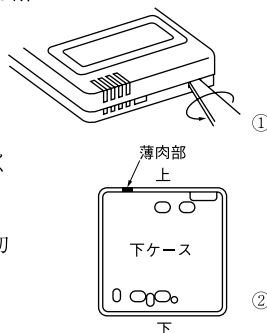
① リモコンケースをはずしてください。

- リモコン上部の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースをはずします。

② リモコンコードの取出し方向は、上方向のみ可能です。

- リモコン下ケース側の上方薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。

③ リモコン下ケースを付属の木ねじ2本で壁に取り付けます。



④ リモコンコードを端子台に接続してください。室内機とリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子には極性があるので間違えると運転できません。

端子：⑧ 赤線、⑦ 白線、② 黒線

リモコンコードは、0.3mm<sup>2</sup>(推奨)～最大0.5mm<sup>2</sup>以下としてください。また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。

各配線の皮むき長さは下記の通りです。

黒：195mm  
白：205mm  
赤：215mm

⑤ 上ケースを元通りに取り付けてください。

⑥ リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。

⑦ 室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。

機能の設定の項をご覧ください。

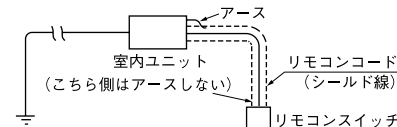
### リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

コードは必ずシールド線を使用してください。

●全形式：0.3mm<sup>2</sup>×3心〔MVVS3C(京阪電線)〕

注(1) 延長距離が100mを超える場合は、下記のサイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm<sup>2</sup>以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。

- 100～200m以内……0.5mm<sup>2</sup>×3心
- 300m以内……0.75mm<sup>2</sup>×3心
- 400m以内……1.25mm<sup>2</sup>×3心
- 600m以内……2.0mm<sup>2</sup>×3心



- シールド線は必ず片側のみをアースしてください。

### 埋込取付

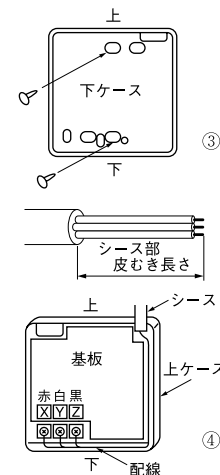
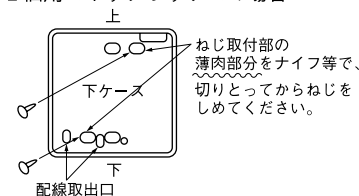
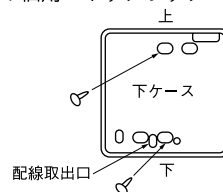
① JISボックスとリモコンコード(延長の場合はシールド線を必ず使用)をあらかじめ埋込んでおきます。

〔使用可能JISボックス〕

- JIS C 8336 1個用スイッチボックス
- 2個用スイッチボックス

1個用スイッチボックスの場合

2個用スイッチボックスの場合



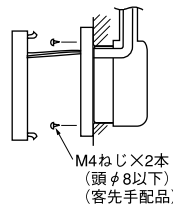
- ②リモコンの上ケースを外してください。
- ③下ケースをM4ねじ2本（頭φ8以下）を用意してJISボックスに取付けてください。
- ④リモコンコードをリモコンに接続します。  

露出取付

の項をご覧ください。
- ⑤上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。
- ⑥室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。  

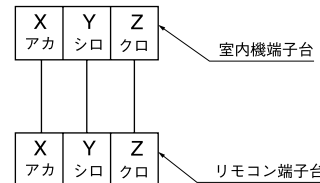
機能の設定

の項をご覧ください。



## リモコンと室内の配線

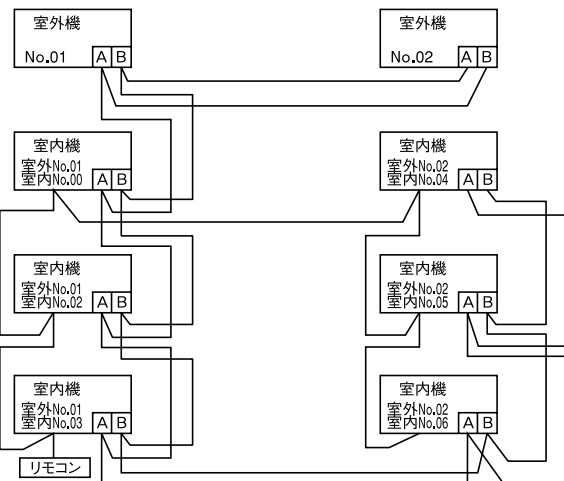
- リモコン配線は極性があります。  
必ず同一端子台No.同士接続してください。



## リモコン複数台制御

### 配線要領

- グループ制御用に各室内機間に渡り配線をします。(3本)
- 室内ユニットリモコン用端子台XYZに、接続してください。なお極性がありますので、同じ端子No.の所へ接続してください。
- 配線は0.5mm<sup>2</sup>以上を使用してください。(配線の引廻しに耐えるもの)
- 渡り線、リモートコントローラ配線の総延長は600m以内としてください。
- 室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
- 室外機の室外No.設定も必要です。忘れずに設定してください。
- 下図の様に室外機が複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。
- 1つのリモートコントローラで複数台のユニット(最大16台)をグループ制御できます。
- 室内基板上のロータリースイッチSW1、SW2により、リモコン通信アドレスを重複しないように設定してください。



電源投入後、リモコンの **エアコンNo** を押すと室内機アドレスが表示されますので、  
**▲ ▼** ボタンで接続されている室内機アドレスがリモコンに表示されることを、  
 必ず確認してください。

## 機能の設定

- リモコン及び室内機の各機能は、接続される室内機により自動設定されます。  
 (標準的な使い方をする場合は設定の変更はいりません。)  
 但し、グリル昇降設定と、特別に初期設定を変更する必要がある場合は、設定を変更してください。  
 設定方法は、リモコンの据付説明書をご覧ください。

工場出荷時、リモコンはグリル昇降無効の設定となっていますので、ラクリーナパネル  
 ご使用の場合は、必ずグリル昇降有効の設定が必要です。  
 設定方法は、リモコンの据付説明書をご覧ください。

各機能の初期設定は下記の通りです。

### (1) リモコン機能

| 機能番号<br>(A) | 機能内容 (B)  | 設定内容 (C)                     | 初期<br>設定  |
|-------------|-----------|------------------------------|-----------|
| 01          | グリル昇降設定   | 昇降無効<br>有効50Hz地区<br>有効60Hz地区 | ○<br><br> |
| 02          | 自動運転設定    | 自動運転有効<br>自動運転無効             | <br>○     |
| 03          | 温度設定      | 温度設定有効<br>温度設定禁止             | ○<br>     |
| 04          | 運転切換      | 運転切換有効<br>運転切換禁止             | ○<br>     |
| 05          | 運転/停止     | 運転/停止有効<br>運転/停止禁止           | ○<br>     |
| 06          | 風量調整      | 風量調整有効<br>風量調整禁止             | ※<br>     |
| 07          | 風向調整      | 風向調整有効<br>風向調整禁止             | ※<br>     |
| 08          | タイマー      | タイマー有効<br>タイマー禁止             | ○<br>     |
| 09          | リモコンセンサ設定 | リモコンセンサ無効<br>リモコンセンサ有効       | ○<br>     |
| 10          | 停電補償設定    | 停電補償無効<br>停電補償有効             | ○<br>     |
| 11          | 換気設定      | 換気接続なし<br>換気連動<br>換気非連動      | ○<br><br> |
| 12          | 温度範囲設定    | 表示変更有<br>表示変更無               | ○<br>     |
| 13          | 室内ファン速調   | ファン3速<br>ファン2速<br>ファン1速      | ※<br><br> |
| 14          | 冷専/ヒーボン   | ヒーボン<br>冷専                   | ※<br>     |
| 15          | 外部入力設定    | 個別運転<br>全台同一運転               | ○<br>     |
| 16          | エラー表示設定   | エラー表示有<br>エラー表示無し            | ○<br>     |
| 17          | ルーバ制御設定   | ルーバ4位置停止<br>ルーバフリー停止         | ○<br>     |

### (2) 室内機能

| 機能番号<br>(A) | 機能内容 (B)   | 設定内容 (C)                                 | 初期<br>設定      |
|-------------|------------|--|---------------|
| 01          | 高天井設定      | 標準<br>高天井1<br>表示しない                      | ○<br><br>     |
| 03          | フィルターサイン設定 | 180時間後<br>600時間後<br>1000時間後<br>1000時間→停止 | <br><br>○<br> |
| 04          | ルーバ制御設定    | ルーバ4位置停止<br>ルーバフリー停止                     | ○<br>         |
| 05          | 外部入力切換     | レベル入力<br>パルス入力                           | ○<br>         |
| 06          | 運転許可/禁止    | 通常運転<br>有効                               | ○<br>         |
| 07          | 暖房室温補正     | 通常運転<br>室温補正+3℃                          | ○<br>         |
| 08          | 暖房ファン制御    | 弱風<br>停止→弱風                              | ○<br>         |
| 09          | 凍結防止温度     | 2.5℃<br>1℃                               | ○<br>         |
| 10          | 凍結防止制御     | ファン制御有効<br>ファン制御無効                       | ○<br>         |
| 11          | 電気集塵機      | ファン制御無効<br>ファン制御有効                       | ○<br>         |
| 12          | 加湿器制御      | ドレンモータ非連動<br>ドレンモータ連動                    | ○<br>         |

注1.「※」印の項目の初期設定は、室内機の機種毎に異なり、下記の通りとなります。

# 天埋力セテリア形 5-11/11

| 機能番号 (A) | 機能内容 (B) | 設定内容 (C) | 初期設定             |
|----------|----------|----------|------------------|
| 06       | 風量調整     | 風量調整有効   | 室内ファン風量 2、3 速の機種 |
|          |          | 風量調整禁止   | 室内ファン風量 1 速の機種   |
|          |          | 風向調整有効   | オートシングルルーバ搭載機種   |
| 07       | 風向調整     | 風向調整有効   | その他              |
|          |          | 風向調整禁止   |                  |
|          |          |          |                  |
| 13       | 室内ファン速調  | ファン 3 速  | 室内機ファン風量 3 速の機種  |
|          |          | ファン 2 速  | 室内機ファン風量 2 速の機種  |
|          |          | ファン 1 速  | 室内機ファン風量 1 速の機種  |
| 14       | 冷専/ヒーボン  | ヒーボン     | ヒーボン機            |
|          |          | 冷専       | 冷専機              |

注 2. 室内機に機能がない内容の場合、設定しても室内機は作動しません。

注 3. (1)のリモコン機能の⑦ルーバ制御設定を変更する場合は、(2)室内機能の④ルーバ制御設定も変更してください。

## ④ 制御の切換

囲みが工場出荷時の設定

室内機の制御内容を下記方法にて切換可能です。

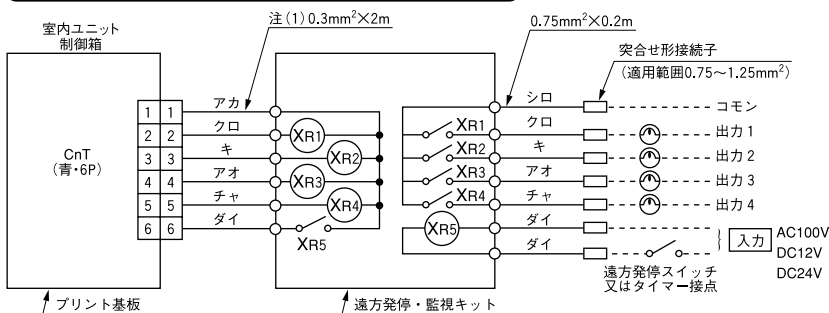
|       |               |            |         |
|-------|---------------|------------|---------|
| SW5-1 | ON            | ドレンポンプ試運転  |         |
|       | OFF           | ドレンポンプ自動   |         |
| SW5-2 | ON            | 加湿器残留運転 有効 |         |
|       | OFF           | 加湿器残留運転 無効 |         |
| SW5-3 | ON            | 外部入力 パルス入力 |         |
|       | OFF           | 外部入力 レベル入力 |         |
| SW5-4 | ON            | 緊急停止信号 有効  |         |
|       | OFF           | 緊急停止信号 無効  |         |
| SW6-1 | 機種容量設定        |            |         |
| SW6-2 |               |            |         |
| SW6-3 |               |            |         |
| SW6-4 |               |            |         |
| SW9-1 | ラクリーナパネル降下長設定 |            |         |
| SW9-2 |               |            |         |
| SW9-4 | ON            | ファン制御      | 高速（高天井） |
|       | OFF           | ファン制御      | 標準      |

|     |                       |                  |              |                 |
|-----|-----------------------|------------------|--------------|-----------------|
| J1  | 短絡                    | フィルタサイン有効        |              |                 |
|     | 開放                    | フィルタサイン無効        |              |                 |
| J2  | 短絡                    | 運転制御標準           |              |                 |
|     | 開放                    | 運転許可禁止           |              |                 |
| J3  | 短絡                    | 暖房サーモOFF制御はJ4による |              |                 |
|     | 開放                    | 暖房サーモOFF時停止      |              |                 |
| J4  | 短絡                    | 暖房サーモOFF時Lo風量運転  |              |                 |
|     | 開放                    | 暖房サーモOFF時間欠運転    |              |                 |
| J8  | 短絡                    | 加湿器ドレンポンプ非連動     |              |                 |
|     | 開放                    | 加湿器ドレンポンプ連動      |              |                 |
| J10 | リモコン風量表示の切換 ×：開放 ○：短絡 |                  |              |                 |
|     |                       |                  |              |                 |
| J11 | 記号                    | 設定 1             | 設定 2         | 設定 3            |
|     | J10                   | ○                | ×            | ○               |
|     | J11                   | ○                | ○            | ×               |
|     | 風量切換<br>設定            | 3 速<br>(急/強/弱)   | 2 速<br>(急/弱) | 1 速<br>(風量調整無効) |

※ 風量切換設定の工場出荷時設定は、室内機により異なります。

注) 機種によっては、上記制御内容の一部が無い機種もございます。詳細は機種別の結線銘板をご覧ください。

## ⑤ 室内基板CnTコネクタの機能



注 (1) 2 mより長くしないでください。

- XR1~4はDC12Vリレー (オムロンLY2F相当品)
- XR5は、DC12、24V又はAC100Vリレー (オムロン製MY2F相当品)
- CnTコネクター (現地側) メーカー、形式

| コネクター | モレックス | 5264-06 |
|-------|-------|---------|
| 端 子   | モレックス | 5263T   |

## ●機 能

|      |                          |                             |
|------|--------------------------|-----------------------------|
| 出力 1 | エアコン運転出力（エアコンON時XR1＝ON）  |                             |
| 出力 2 | 暖房出力                     |                             |
| 出力 3 | サーモON出力（サーモON時XR3＝ON）    |                             |
| 出力 4 | エアコン点検出力（エアコン点検時XR4＝ON）  |                             |
| 入力 5 | 出 荷 時                    | XR5 OFF⇒ON エアコンON           |
|      |                          | XR5 ON⇒OFF エアコンOFF          |
|      | 現 地 切 換<br>(SW5のNo.3をON) | XR5 OFF⇒ONのパルス信号によりON/OFF反転 |

- 冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ (別売品) の据付説明書をご覧ください。
- 遠方発停・監視キットを別売品で準備しておりますのでご利用ください。

## ⑥ ドレンポンプ運転操作

ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。リモコンを次の手順で操作してください。

1. ドレンポンプ強制運転の開始

①[試運転] ボタンを 3 秒以上押します。

「項目◆で選択」→「[セット]で決定」→「冷房試運転▼」と、表示が切り換わります。

②「冷房試運転▼」の表示の時に、[▼] ボタンを一度押し、「ドレンポンプ運転◆」を表示させます。

③[セット] ボタンを押すと、ドレンポンプ運転を開始します。

表示：「ドレンポンプ運転」→「[セット]で停止」

2. ドレンポンプ運転の解除

④[セット] ボタン又は、[運転/停止] ボタンを押すと、ドレンポンプ強制運転を停止します。エアコンは停止状態となります。

## ⑦ 試 運 転

試運転については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

## ⑧ 故障診断方法

故障診断方法については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

## ⑨ 工事完了後のチェック項目

- 電源電圧は本体表示と同じですか。
- 室外機側でアース工事はされていますか。
- 電源線の太さは指定の配線と同じですか。
- 電源線、信号線、リモコン線の接続位置は正しいですか。